

2023

臨床研修(初期・専門)のご案内

Information on clinical training 2023



KYORIN

 杏林大学医学部附属病院

<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

真・善・美の探究

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL



杏林大学医学部附属病院 診療センター・診療科

高度救命救急センター	脳神経内科	泌尿器科
臓器・組織移植センター	感染症科	眼科
熱傷センター	高齢診療科	耳鼻咽喉科
総合周産期母子医療センター	精神神経科	産婦人科
腎・透析センター	小児科	放射線科
がんセンター	上部消化管外科	放射線治療科
脳卒中センター	下部消化管外科	麻酔科
造血細胞治療センター	肝胆膵外科	腫瘍科
人間ドック	呼吸器・甲状腺外科	リハビリテーション科
	乳腺外科	救急総合診療科
呼吸器内科	小児外科	
循環器内科	脳神経外科	病理診断科
消化器内科	心臓血管外科	臨床検査部
糖尿病・内分泌・代謝内科	整形外科	
血液内科	皮膚科	
腎臓・リウマチ膠原病内科	形成外科・美容外科	

許可病床数 **1,153床**

外来患者数 **2,056人**
(1日平均・救急含む)

入院患者数 **737人**
(1日平均)

救急
外来患者数 **56人**
(1日平均)

ご挨拶



働きやすい環境で 研修しませんか

病院長
近藤 晴彦

当院は、東京都人口の約3分の1を占める多摩地域で唯一の大学病院本院です。周辺には井の頭公園や神代植物公園など昔の武蔵野の面影を残す緑豊かな名所が数多く残っており、働く環境にも恵まれております。高度救命救急センターでは東京都ドクターヘリの基幹施設としての活動も開始しており、その他、総合周産期母子医療センター、脳卒中センターなどの専門性が高い救急医療から1、2次救急まで、24時間の救急体制をとっております。一方で、難治性の慢性疾患診療や高難度手術等にも各診療科の優秀なスタッフが取り組んでおります。このため、当院の研修プログラムでは、救急医療からcommon disease、さらには希少な疾患まで幅広く研修することができます。また、医師の働き方改革にも十分配慮したプログラムにもなっております。一昨年から大きな社会問題になっている新型コロナウイルス感染症にも系統的な対策を講じております。当院の理念は「あたたかい心のかよう、良質な医療を患者さんに提供します」で、診療科の垣根にこだわらず患者さん中心の医療をしていますが、医師教育のモットーは「良医を育てる」です。病院としても初期研修医の皆さんが充実した研修ができるように応援いたします。



初期研修も専門研修も 杏林大学病院で

総合研修センター長
要 伸也

医学生、研修医の皆さんこんにちは。私からは、当院の教育・研修体制について簡単に紹介させていただきます。当院は高度機能を持つ大学病院でありながら、同時に地域の中核施設としての役割も果たしており、極めて幅広い疾患を診ることが出来ます。このことは大きな利点ですが、私が強調したいのは、病院全体が、各領域の専門家集団として、一丸となって臨床に取り組むだけでなく、教育熱心な気風に満ち溢れていることです。各科の上級医は多くが「研修指導医のための講習会」を受講し、効果的な指導法を習得済みです。また、研修医室、研修医講義室、クリニカルシミュレーションラボラトリー、リモートアクセス可能な電子図書館、「UpToDate」などのデータベースなど、設備面でも充実しています。子育て医師のキャリア形成を支援する制度があり、働き方を選択できるのも強みです。感染対策を含めて安全面への配慮も万全ですので、安心して臨床能力を伸ばすことができます。このように、充実した応援体制が整っており、すべての先生方に適した初期研修、専門研修が行えることを確信します。見学も随時受け付けていますので、連絡をお待ちしています（連絡先は裏表紙参照）。

CONTENTS

●ご挨拶	02
●病院概要	02
●初期臨床研修	03
●研修環境	05
●病院・キャンパスと周辺のご案内	07
●専門研修	09
●アクセス	裏表紙

熱心な指導により、医師としての基本的な能力(知・技・心)の習得を支援します

Initial clinical training

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL

初期臨床研修の理念と目標

杏林大学医学部附属病院の初期臨床研修は、将来選択する専門領域にかかわらず、その土台となる以下の基本的臨床能力の習得を目標とします。

- ① 医師にふさわしい責任感・倫理観を身につける。
- ② 患者の立場・気持ちを深く理解し、思いやることができる。
- ③ 頻度の高い疾患・病態に関する適切な知識を有し、それを個々の患者に応用できる。
- ④ 患者の病状をよく把握し、適切な検査・治療を計画できる。
- ⑤ 患者、家族に対して検査・治療の説明を適切に行い、同意を得ることができる。
- ⑥ 医療スタッフとコミュニケーションをよく取り、よい人間関係を築く。
- ⑦ ルールを遵守し安全な医療を実践する。
- ⑧ 適切な基本的診察・検査・治療技能を身につける。



この目標の達成のため、次のような研修を提供します。

- ① 将来進みたい領域に合わせて2種類のプログラムを用意しました。
- ② 一次から三次まで幅広い救急研修ができます。
- ③ 8週間の麻酔科研修により、気管挿管などの手技、呼吸管理や体液管理などがマスターできます。
- ④ 地域医師会・僻地の病院との連携により、有意義な地域医療研修が行えます。
- ⑤ 症例数が豊富でハイレベルな専門診療科において高い診療能力を身につけることができます。
- ⑥ 侵襲的な手技を安心して繰り返し練習できるクリニカル・シミュレーション・ラボを整備しました。
- ⑦ 常勤医の約3分の2は、指導能力向上のための講習(指導医養成ワークショップ)を受講しています。受講者の割合は毎年増加しています。
- ⑧ 看護部、検査部、事務部などの協力により、病院全体で研修医を育てる体制を構築しています。

選べる2つのプログラム

研修プログラム

杏林大学 医学部附属病院 一般コース

平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策をとりました。

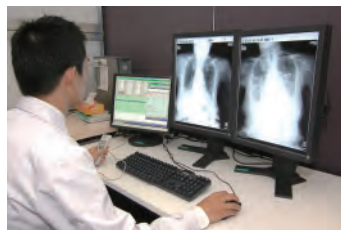
1. 厚生労働省の定める到達目標の大幅改訂に合わせ、病院全体および各分野の到達目標を見直しました。
2. 外科、産婦人科、小児科、精神科が必修となりましたが、当院のプログラムは従来からこれらの分野を必修にしていたので、必修科目の変更はありません。
3. 外来研修の必修化にも対応しています。
4. 「平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策を取りました。」について全国共通の評価表とともに、これまで用いていた評価票をもとにした当院独自の評価票を併用し、より正確できめ細かな研修評価を行います。
5. 28週間の自由選択期間がありますので、将来の進路に適した分野を選んで研修することができます。

制度の定める必修科目である「内科(内科外来研修含む28週間)」、「救急(12週間)」、「外科(4週間)」、「産婦人科(4週間)」、「小児科(4週間)」、「精神神経科(4週間)」、「地域医療(4週間)」の他に、「麻酔科(8週間)」を必修とし、「救急と全身管理に強い医師」の養成をめざしています。自由選択期間は28週間あり、プログラム責任者の助言のもとに、将来の進路を見据えた自分なりのプログラムを組むことができます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内 科						麻酔科		外科	内科 外来	選 択	
2年次	救総	救急		産	精	小	地	選 択				

救総：救急総合診療科(一次・二次救急)、産：産婦人科、精：精神神経科、小：小児科、地：地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



杏林大学 医学部附属病院 産婦人科・ 小児科重点コース

「産婦人科・小児科重点コース」も基本的なコンセプトは「一般コース」と同じですが、小児科あるいは産婦人科の研修期間を長くとり、この領域の研修が重点的に行えるようになっています。ただし、小児科または産婦人科以外に、将来の進路に役立つと思われる科を研修することも可能です。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	産	小	外科	麻酔科		内科 外来	内 科					
2年次	救総	救急	精		地	選択	選択：原則として小または産					

救総：救急総合診療科(一次・二次救急)、産：産婦人科、精：精神神経科、小：小児科、地：地域医療

1. ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。
2. 内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。
3. 外科は消化器外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。



研修医の声



後藤 健太さん

杏林大学病院は多摩地区唯一の大学病院の本院です。様々な診療科がそろっており、専門性の高い疾患をたくさん経験することができます。また、高度救命救急センターや総合周産期母子医療センターなどを備えており、重症熱傷やスーパーマタ救急などの診療に携わる機会が持てます。研修では2か月間麻酔科が必修であり、集中治療や周術期管理等もしっかり学ぶことができ、一方でCommon diseaseをみる経験も十分にあります。救急外来では研修医がファーストタッチを行い、研修医でアセスメント・プランを立てる経験もできます。加えて、当院の特徴として良い意味で指導医との距離が近く、疑問に思ったことや困ったことをすぐに上級医に相談することができ、初めての手技や疾患の

診療を1人で行うということもありません。救急の現場においても病棟実習においても上級医の目が十分に行き届いた環境で充実した実習を行うことができます。

当院の初期研修の独自の魅力として、初期研修医の人数がとても多く、様々な出身大学の医師とともに初期研修を行うことができます。また、出身大学での隔たりも全くなく、とてもいい雰囲気、日々の臨床における疑問を相談し議論することもあれば、自分の進路について相談に乗ってもらうこともあり、互いに助け合いながら実習をすることができました。

杏林大学病院での実習は安心感のある環境で上級医に様々なことを教えていただきながら様々な医療を経験できる非常に充実したものになると思います。是非一度、見学にお越しいただき、当院の雰囲気を感じていただきたいです。



鈴木 美帆さん

私は他大学を卒業し、2021年4月に当院の産婦人科・小児科重点コースで初期研修を開始しました。私が当院を初期研修先として選んだ理由は、生まれ育った多摩地域で唯一の大学病院の本院であり、学生の頃から志望していた産婦人科が周産期母子医療センターを有しておりスーパー母体の受け入れなどしている点に興味を持ったからです。入職当初は他大学出身者ということもあり不安だらけでしたが、大学病院でありながら国立・私立・地域を問わず他大学出身の医師が多く在籍しており、他大学出身であることに壁を感じたことは一度もありません。また、疑問や不安があるときには誰かに相談しやすい環境で他科ローテ中でもすぐ上級医に質問や相談をすることができます。当院の初期研修は麻酔科2か

月、3次救急2か月、1・2次救急2か月が必修であり、初期診療から全身管理までしっかりと学ぶことのできるプログラムになっています。特定機能病院として救急対応や高度医療に携わっている一方で、周囲に大きな病院がないため地域の中核病院としての役割も担っており大学病院と市中病院のいいところ取りをしたような環境で研修生活を送ることができます。産婦人科・小児科重点コースは基本的に一般コースと変わりませんがALSOやJ-CIMELESという産科救急のプロバイダーコースなどの受講機会があったのが魅力のひとつです。是非一度、見学にお越しいただき、当院の雰囲気を実際に感じていただければと思います。

指導医の声



海田 賢彦さん(救急医学)

私は2004年に山口大学を卒業し、杏林大学医学部附属病院で初期臨床研修を行いました。皆様にはぜひ当院で初期臨床研修を行うことを薦めたいと思います。その理由は2つあります。1つ目は専門性の高い大学病院ですが救急医療に非常に強いことです。当院の初期研修プログラムでは全員1ヶ月間1・2次救急外来、2ヶ月間3次救急外来と救急ICUで研修を行うので、さまざまな重症度の救急疾患の初期治療から重症患者の集中治療まで経験することができます。さらには2022年から当院を基地病院としてドクターヘリの運用が開始されたので、より豊富な症例を経験することができます。2つ目は研修環境の良さです。まず当院の指導医の先生は

みんな親切・丁寧で本当に教育熱心です。私自身は他大学出身でしたがのびのびと研修を行うことができました。杏林で初期研修をして良かったなと思っています。そして当院のプログラムにおいては自由選択期間が長く設定されていますので、充実した研修が送れると思います。私自身は小児外科、CCUを選択しましたが非常に有意義な時間を過ごすことができました。さらに当院がある三鷹市は本当に住みやすいですし、研修医室や教育施設なども充実しており、快適な研修生活を送れることと思います。

皆様ぜひ一度見学に来ていただき当院の魅力を感じてもらえたらと思います。

一人一人の夢を実現するために、 万全の研修環境を提供します

Training environment

医療施設

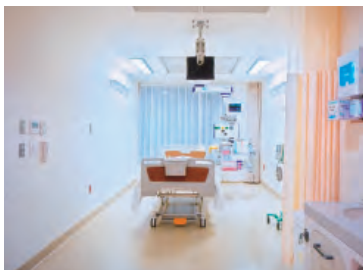
特定機能病院、東京西部地域の一・二次、三次救急医療の基幹病院およびがん拠点病院としての使命を担っています。平成7年には、厚生労働大臣の認定する全国10ヶ所(当時)の高度救命救急センターの一つに認定され医療の質、その規模、内容ともに全国トップクラスの評価を受けています。



手術室



TCC(高度救命救急センター)



ICU

クリニカル・シミュレーション・ラボ

クリニカル・シミュレーション・ラボラトリー(略称CSL)では、医師、医学部・保健学部の学生や教員、看護師、メディカルスタッフなどが随時トレーニングを行えるように、色々なシミュレーション器具を取り揃えています。

シミュレーター

蘇生(成人、小児)、心音、肺音、気道管理、中心静脈穿刺、腰椎穿刺、静脈注射、導尿、皮膚縫合、鏡視下手術、超音波装置、除細動装置、眼底・耳の診察、乳癌触診、直腸診など

主な設備

- 総床面積 …………… 約114m²
- ホワイトボード …………… 2台
- スクリーン …………… 2台



シミュレーション研修風景

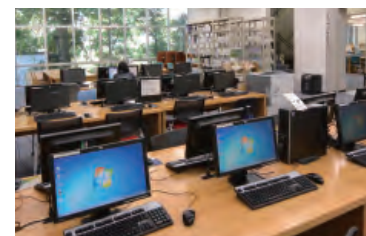


図書館

医学図書館は、学園の教職員・学生のための施設です。約3,000m²の館内に約6万9千冊の医学図書があります。電子ジャーナルや文献データベースを中心としたオンラインサービスにも力を入れています。約10万5千タイトルのほか、臨床支援データベースのUpToDate、The Cochrane Libraryを導入して、診療・研究・教育活動をサポートしています。平日は8時30分から22時30分、土日祝日は9時から22時30分に開館しています。リモートアクセスサービスに登録すると、自宅から文献検索データベースや電子ジャーナルを利用することができます。個人ポータルサイト「MyLibrary」をお使いいただくと、オンラインで資料の予約、文献取り寄せの申込などができます。



大閲覧室



文献検索エリア



新着雑誌エリア

研修医室・研修医講義室

研修医1年目・2年目の学年ごとに研修医室があり、一人ひとりに机・ロッカーがあります。Wi-Fiの使用も可能となっています。



大学院講堂

講演会、学会、式典などに幅広く利用されています。席数：243席、車椅子席2台分



職員寮

(令和5年5月現在)

病院から徒歩10分圏内に、マンション形式の独身者用職員寮があります。(空き部屋がなく、入寮できない場合もあります。)

寮費／1か月

寮費36,500円・共益費3,000円・保険料200円

部屋の一例

占有面積約24m²／RC構造／3階建て／エアコン完備／バス・トイレ別／都市ガス／居間フローリング／室内洗濯機置き場有／CATV視聴可(武蔵野三鷹CTV)／駐輪場有／駐車場なし／オートロック／WiFi完備

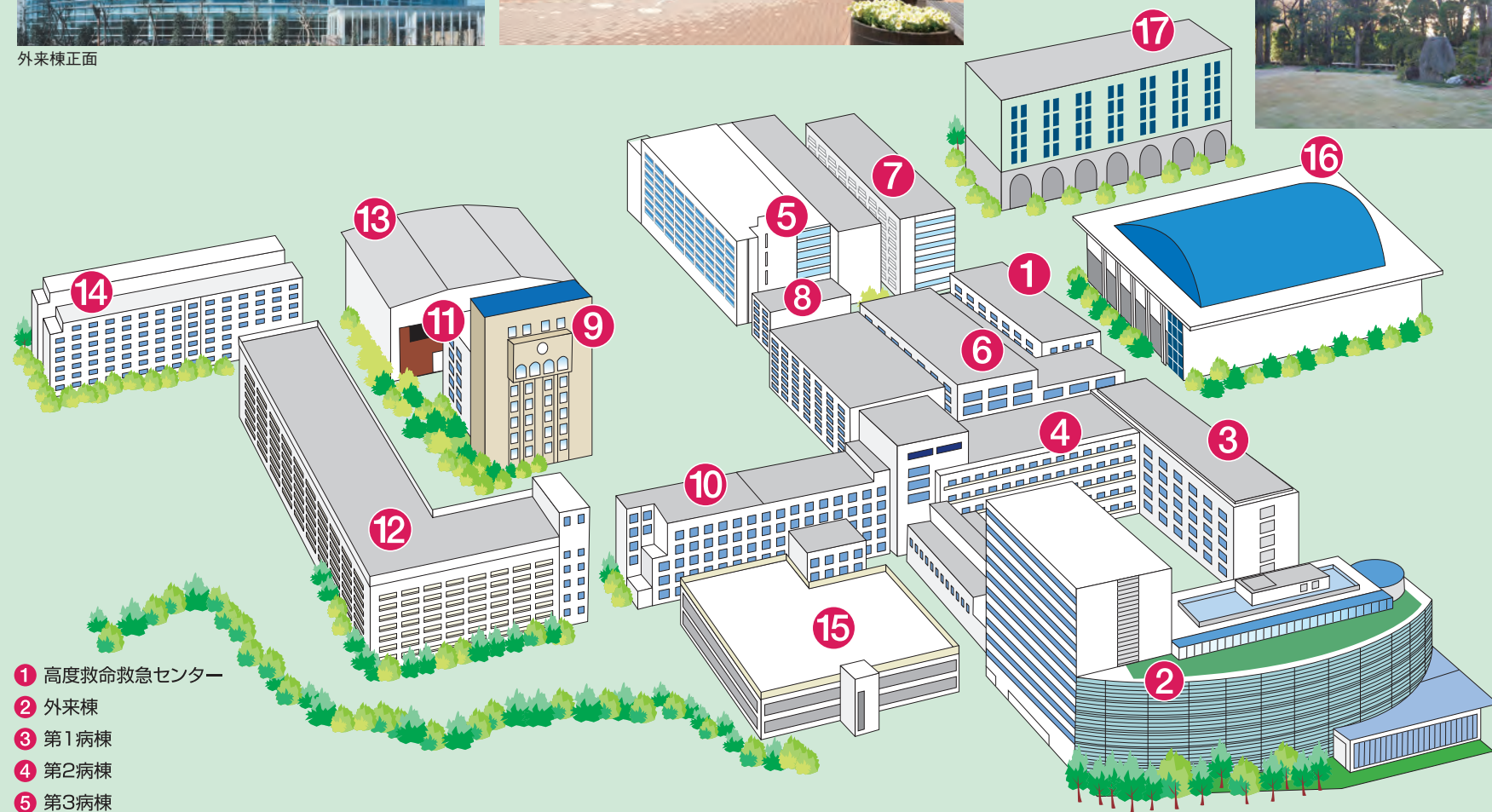
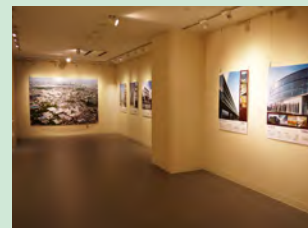


住みよい街、美しいキャンパスで 快適な研修生活を

Information on hospitals / Campuses and their surroundings



外来棟正面



- ① 高度救命救急センター
- ② 外来棟
- ③ 第1病棟
- ④ 第2病棟
- ⑤ 第3病棟
- ⑥ 中央病棟
- ⑦ 外科病棟
- ⑧ D棟(5F研修医室)
- ⑨ 医学資料情報センター(本部棟)
- ⑩ 医学部講義棟B・学食
- ⑪ 医学図書館
- ⑫ 基礎医学研究棟・臨床医学研究棟
- ⑬ 松田記念館(体育館)
- ⑭ 看護・医学教育研究棟
- ⑮ 病院駐車場
- ⑯ 松田進勇記念アリーナ
- ⑰ 医学部講義棟A

院内アメニティ施設のご案内

ローソン



スターバックス



ナチュラルローソン



ガーデンテラス 日比谷松本楼



院内には、カフェや24時間営業のコンビニエンスストアなどのアメニティ施設があります。

病院・キャンパス周辺情報



三鷹駅



吉祥寺駅



杏林大学 井の頭キャンパス



井の頭公園



三鷹の森ジブリ美術館
©Museum of Art Ghibli.



- A 職員寮
- B スーパーマーケット
- C 家電量販店
- D スポーツ用品店
- E ホームセンター
- F 洋服店
- G ゴルフショップ
- H コンビニエンスストア
- I 飲食店
- J カラオケ
- K ドラッグストア
- L 月極駐車場

安定した身分と充実した研修プログラムにより、 さまざまな領域で活躍できる医師の育成を目指します

Professional training

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL

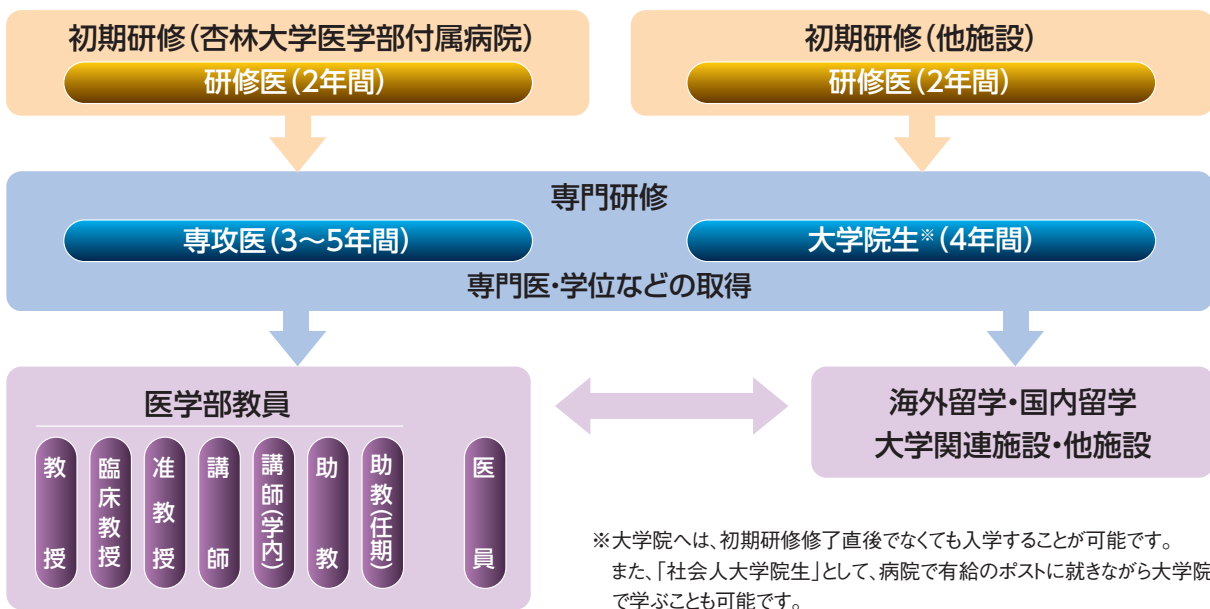
専門研修

個々のキャリア形成を親身になってサポートします。

平成30年度から開始された新専門医制度に則り、19の基本専門領域のすべてで「専門研修プログラム」を作成しました。専攻医の身分・処遇を明確にして経済的な不安がないようにしています。また、妊娠・出産、子育て、あるいは介護などでフルタイムの仕事ができない状況でも仕事を継続できるように支援しています。また、「社会人大学院」の制度があるので、研修医(2年目)あるいは専攻医として病院で勤務しながら、大学院の課程を修めることができます。専門医資格と学位(医学博士)の取得まで、責任を持って指導します。



杏林大学医学部附属病院の卒後教育の概要



杏林大学医学部附属病院の専門研修の理念と目的

大学内のみならず、医療界の様々な場面で活躍できる、次のような人材の育成をめざします。

- ① 高度の専門的な診療能力を持った医師
- ② 研究心、研究能力を持った医師
- ③ 後進を適切に指導する能力を持った医師

この目的を達成するために、安定した身分と処遇、各科の専門研修プログラムに基づいた適切な研修環境を提供します。

取得できる専門医・指導医資格

新専門医制度におけるサブスペシャリティの専門資格については現在検討中ですが、参考のため旧制度において当院での専門研修により取得できた資格を示します。

専門医など

下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医 胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医 外科周術期感染管理認定医 甲状腺外科専門医 呼吸器外科専門医 死体解剖資格 神経超音波検査士 心臓血管外科専門医 精神保健指定医 総合内科専門医 頭頸部癌専門医 内視鏡技術認定医 内分泌外科専門医 日本アレルギー学会アレルギー専門医 日本医学放射線学会放射線科認定医・専門医 日本医学放射線学会放射線診断専門医・治療専門医 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医 日本化学療法学会抗がん化学療法指導医 日本カプセル内視鏡学会認定医 日本眼科学会専門医 日本感染症学会感染症専門医 日本肝臓病学会肝臓専門医 日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・教育医 日本緩和医療学会認定医・専門医 日本気管食道科学会気管食道科専門医 日本救急医学会専門医 日本区域麻酔学会認定医 日本形成外科学会専門医 日本外科学会外科専門医・指導医	日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医 日本血液学会専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 日本産科婦人科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本集中治療学会専門医 日本循環器学会専門医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本小児科学会専門医 日本小児外科学会専門医 日本小児麻酔専門医 日本食道学会食道科認定医 日本神経学会専門医 日本心臓血管麻酔専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本睡眠学会認定医 日本頭痛学会専門医 日本性機能学会専門医 日本整形外科学会整形外科専門医 日本精神神経学会精神科専門医 日本大腸肛門病学会専門医・指導医 日本胆道学会認定指導医 日本超音波医学会超音波専門医 日本てんかん学会認定医(臨床専門医) 日本透視医学会専門医	日本糖尿病学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内分泌学会専門医・指導医 日本乳癌学会乳腺認定医・専門医 日本認知症学会専門医 日本熱傷学会熱傷専門医 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会脳卒中専門医 日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医 日本病理学会病理専門医 日本ペインクリニック学会専門医 日本ヘルパクター学会認定医 日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医 日本脈管学会認定脈管専門医 日本輸血・細胞治療学会認定医 日本リウマチ学会リウマチ専門医 日本リハビリテーション医学会専門医 日本臨床検査医学会臨床検査専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医 日本臨床神経生理学会認定医 日本レーザー医学会レーザー専門医 日本老年医学会老年病専門医 日本老年精神医学会専門医 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医 臨床遺伝専門医
---	--	--

他多数

※取得できることを保証するものではありません。

専攻医の声



芳鐘 一さん

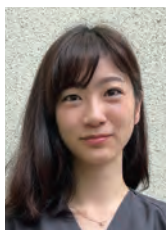
私は杏林大学を卒業したのち、そのまま杏林大学医学部附属病院で初期研修2年間で過ごし、2022年4月より同院の救急科専攻医として勤務をしています。

都内に2つ認定されている高度救命救急センターのうち1つが当院であり、2022年度よりドクターヘリ事業も開始し、2023年度からはハイブリッドE R室が完成するなど、当院救急科は日々進化しております。そういった背景があることから多種多様な重症患者さんが搬送されることが多く、初療から対応し入院後もセンター内でICU管理をするのが日々の診療の醍醐味です。当科は救急科専門医に加えて多様なサブスペシャリティ(胸腹部外科・血管外科・形成外科・

放射線科・麻酔科など)を持った上級医が多数在籍しており、様々な専門家の知見から1人の患者さんの治療をアプローチできるのは当院救急科ならではの強みと考えております。

専攻医として必要な技術・知識を身につけるために日々奮闘している中で、常に先輩方からご指導を頂けるのはチームとして患者さんの診療にあたっている、コミュニケーションを密に取れているからだと思います。毎日が刺激的である反面、忙しい毎日ではありますが、同僚・先輩関係なく皆で体調管理には十二分に気をつけながら勤務をしています。

当院は多摩地域の中心病院として地域に根ざした病院であり幅広い疾患を経験することができます。どの診療科も垣根なく、縦にも横にも隔たりのない病院だと感じています。ぜひ一度見学にいらして杏林の雰囲気の良いさを感じてください！



田邊 知佳さん

私は小学生から三鷹市で育ち、2020年に他大学を卒業後、杏林大学医学部附属病院で初期研修を行いました。2022年4月に同病院の眼科(アイセンター)に専攻医として入局しました。

当院は多摩地域の中心病院であり、白内障などのcommon diseaseから大学病院でしかみられない症例、さらに裂孔性網膜剥離や急性緑内障発作、眼球破裂などの緊急疾患と幅広く経験できます。当科はすべての眼疾患に対して専門外来を設置しており、専攻医は数か月おきに全ての専門分野をローテーションするため、偏ることなく幅広くトップレベルの臨床を学べます。

外来や手術、病棟のすべての場面で、先輩や上級医の先生方

に常に相談できる環境にあり、優しく教えてもらえるので、少しずつ手技も取得でき、充実したレジデント生活を送っております。教科書を書いているような先生方からの勉強会や豚眼での白内障手術練習、学会発表の機会もあり、1人前の眼科医になりたい専攻医にとっては最高の環境だと思います。

他の科と連携すること多いですが、専攻医になっても初期研修の際にお世話になった他の科の先生方が優しく教えてくださいます。私は他大学から当院にきましたが、そのために不利に感じたことは一切なく、どの科もアットホームで雰囲気の良いのが当院の特徴だと思います。

ぜひ一度見学に来ていただき、当院での研修をご検討いただければと思います。皆様と一緒に働く日を楽しみにしております。



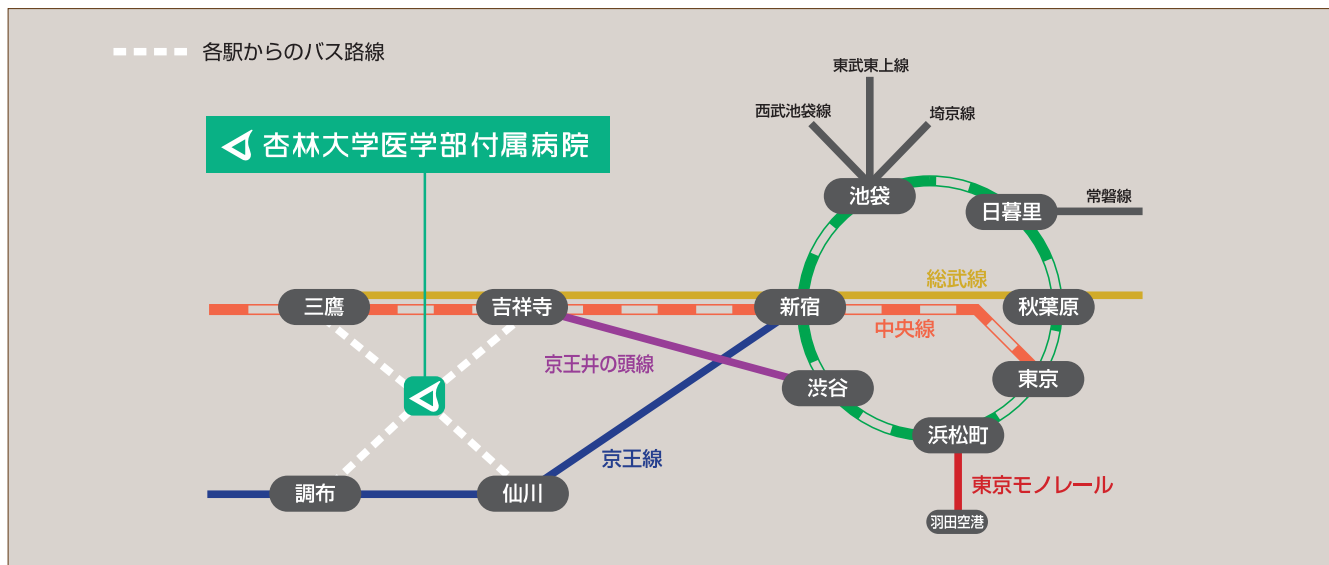
鈴木 由美さん

医学生および初期研修医の皆様、初めまして、私は、杏林大学医学部眼科(杏林アイセンター)の鈴木と申します。私の所属する杏林アイセンターは、本邦初の眼科総合診療センターとして、1999年に開設されました。アイセンターとは、すべての眼疾患、つまり、網膜硝子体、角膜、白内障、緑内障、眼炎症、黄斑外来(加齢性黄斑変性症)神経眼科、眼瞼・眼瞼疾患、小児眼科およびロービジョンケアまで網羅的に対応する診療部門のことで、当センターは、これらすべての眼疾患に対する専門外来を設置しており、最先端の診療と手術(手技)を学べる施設となっています。

眼科は視覚器(眼球・視神経・眼科付属器)という小さな臓器

を診療対象としていますが、外界からの情報の約8割以上を得ているとされる重要な器官を扱う専門性の高い科であり、また、未熟児網膜症から白内障まで、新生児からお年寄りまで全年代を対象とし、その治療法も、外科的な要素と内科的な要素も併せ持ち、分業化した現在の医療の中で、診断、治療、生活支援(視覚障害者手帳等を含む)まで、患者さんと生涯向き合うことができる科です。

そして、当アイセンターの魅力は、全国の様々な医学部を卒業し、高度な専門的な診療能力を持った医師が集まっていること、後進に熱心な指導をする医師が多いことなどです。症例検討会、抄読会、各専門外来における勉強会が毎月開催され、充実した研修医生活を過ごして頂けるとしています。ぜひ、気軽に当科に見学にいらしてください。お待ちしております。



■ JR中央線 三鷹駅南口＜約20分＞

- のりば7 仙川行、晃華学園東行、新川団地中央行→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば8 野ヶ谷行→「杏林大学病院入口」バス停下車

■ JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅南口＜約20分＞

- のりば6 野ヶ谷行、深大寺行→「杏林大学病院入口」バス停下車
- のりば6 調布駅北口行（杏林経由）→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば7 仙川行、新川団地行、杏林大学病院前行→「杏林大学病院前」バス停下車

■ 京王線 仙川駅＜約15分＞

- のりば1 吉祥寺駅中央口行、三鷹駅行→「杏林大学病院前」バス停下車
- ※バス停は商店街を抜け、甲州街道を渡ったところにあります。

■ 京王線 調布駅北口＜約24分＞

- のりば11 杏林大学病院前行→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば12 吉祥寺駅・吉祥寺駅中央口行（野ヶ谷経由）→「杏林大学病院前」バス停下車

各種お問い合わせは下記へご連絡ください。

TEL:0422-47-5511(代)

k-match@ksot.kyorin-u.ac.jp

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部付属病院 総合研修センター